



川内小学校だより

ゆずり葉

第17号

令和2年2月27日
桐生市立川内小学校発行



1か月後には「卒業式」です。先週は「卒業を祝う会」が開かれました。

先週2/19(水)に「卒業を祝う会」がありました。この行事が行われると、いよいよ卒業式が近づいてきたことを実感します。6年生にとってはたくさんの思い出が残っている川内小から巣立つ時が目前となってきました。残りの日々も大きな事故や怪我をせずに過ごすとともに、卒業式に向けての準備や練習を通して、もう一歩成長できることを期待しています。

「卒業を祝う会」の計画や進行は5年生の子どもたちが中心です。もうすぐ6年生になる5年生にとって、川内小のリーダーとしての最初の役割でもあります。結果から申せば、素晴らしいリーダーシップを発揮した行事だったと思います。多くの5年生が意識と自覚を高くもち、役割を責任もって果たす姿を見ることができました。開会行事の中でも個性を生かした展開は大したものだと思います。

その後、音楽クラブの演奏、そして6年生に向けての川南幼稚園、1～5年生各学年からの発表も大変、見応え・聴き応えがあるものばかりでした。どの学年の子どもたちも、この発表に向けての準備や練習を通して、また一回り成長したことを感じました。



当日は、学校評議員さんや民生・主任児童委員さんの皆様方が大勢ご来校され、子どもたちの発表をご覧いただきました。嬉しい限りのお褒めの言葉をいただいたことを報告させていただきます。また、大勢の6年保護者の皆様にもご参観いただいたこと感謝申し上げます。有り難うございました。

統計グラフコンクールでは大勢の子どもたちが素晴らしい作品でエントリーしました。

昭和50年代～平成初期に川内南小学校に通われていた保護者や地域の方は、懐かしくもありよく覚えていることと思われますが、その頃は統計グラフコンクールへの参加が活発で、学校をあげて取り組んでいたものの1つでした。桐生市内の学校では積極的に取り組む学校が多かったものの、中でも川南小は飛び抜けて好成績を収めていました。毎年、たくさんの児童が上位入賞するとともに、たびたび「学校最優秀賞」をいただいていた。

上記の頃ほどではありませんが、今年度もたくさんの児童が作品をつくりエントリーしました。その結果、川内小のたくさんの統計グラフ作品が桐生市のコンクールで、そして群馬県のコンクールで賞をいただきました。その中でも1年生2名の共同制作による作品が群馬県審査で「教育長賞」をいただき、2/14に行われた群馬県統計大会の式にて表彰されました。これ以外にも多くの児童が参加し、すばらしい作品を多数出品したことで、本校には「学校優秀賞」もいただくことができました。



<「教育長賞」をいただきました>

【めざましタイム】一どの学級も長縄跳びが大変上手になってきました。

この時期の「めざましタイム」で取り組んでいるのは長縄跳びです。たまにテレビで長縄跳びの全国大会のようなものが放映されているのをご覧になったことはあると思いますが、信じられないくらいスピーディー、かつ正確に回数を重ねる子どもたちの姿に驚かされます。

本校の子どもたちは、そこまではいかないにしても、取り組み始めた頃よりも随分とタイミングよく早く跳べるようになってきました。そして忘れてはならないのは回し手です。縄の回し方次第で、跳び易さにもものすごい差が出てくるからです。高学年の体育委員の子どもたちが回し手として下学年のお手伝いに入ってくれていますが、跳ぶ人のことを考えながら、できるだけ縄に引っかからないように工夫ながら回している様子が伝わってきます。いずれにしても、みんなで明るく声を出し合って取り組む活動は見ていて大変気持ちのよいものです。第2回目の長縄大会も楽しみです。

